

会議結果報告書

1. 会議名 令和5年度 第5回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和5年10月20日（金）9:30～11:30
3. 場所 市役所大会議室
4. 出席委員：山崎会長、白川副会長、岩井委員、川井委員、國武委員、小山委員、富川委員、橋本委員、村形委員、渡辺（壽）委員、渡辺（統）委員

事務局：岡本環境保全課長、海老原保全係長、清田主査補

5. 傍聴者 1名

6. 配布資料

・会議次第

7. 内容

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 事

①視察研修の報告について

—事務局より、視察研修について報告—

会 長：ただ今の報告について、ご意見ご質問等あればお願いします。

委 員：東京電力のトンネルを掘っていた工事現場の土について、結構水が出るということだったし、かなり水を含んでいたように感じている。台地の土は保水力があるということがわかったが、そういう意味では、台地の上が宅地開発されてふさがれてしまうと、この水が全て川に流れることになってしまう。企業に対しては、台地の上是雨水を浸透させるような工事にするように指導しないと大変なことになってしまうのではないか。市はどのように指導しているのか聞きたい。浸透柵の設置や歩道の浸透舗装については承知しているが、線状降水帯による大雨などが増えてきており、従来の指導で良いのか心配している。

事務局：開発に関しては、開発指導要綱に基づき都市計画課で指導しているところであるが、質問をまとめていただければ、担当課より回答させていただきたい。

委 員：質問をまとめて、会長をはじめ皆さんに共有させていただく。ニュータウンができた初めの頃とは降水量が変わってきているので、質問したいと考える。

委 員：東京電力のその3工事は2024年10月までが工期となっているようであるが、その後の工事のスケジュールなどは決まっているのか。

会 長：工事のスケジュールに関する質問は当日はなかった。

委 員：パンフレットでは、その5工事のスケジュールまで記載されているようである。

委 員：東京電力の見学で供給能力に関する質問をしたが、現在の印西市全体の電力消費に対して、データセンターに供給する電力がどれくらいの規模であるかを市が確認しているのか知りたい。

事務局：市全域の電力消費量の実績については把握することが難しい。

委 員：環境白書に載っている1,200万kWhという数値は何なのか。

- 事務局：委員よりご質問いただいた市全体の電力消費とは、市の庁舎ということではなく、市全域という解釈でよろしいか。環境白書に掲載している電気使用量は、市の事務事業で使用した電力量になるため、市全域の電力消費とは異なる数値である。
- 会長：kW は一時点での出力の単位であり、kWh とは単位が異なるため、単純比較はできないと考える。千葉県全体の住宅部門の電力使用量などは出ているため、人口比で計算して印西市全域の電力消費量を考察することはできるのではないかと。
- 委員：データセンターに供給される電力の規模と、印西市内でどれくらい電力が使われているのかを比較して、とてつもなく大きな違いがあるのか、そこまで大きな差はないのかを判断したい。大きな違いがあるということであれば色々なところに影響があると思う。
- 会長：とてつもなく大きな違いがあるということは間違いないのではないかと。時間に限りがあるため、質問がある場合はメール等でお願したい。
- 委員：データセンターが建設されている状況を見たが、企業が進出することによる財政的な変化があるのではないかと考える。東京電力の事業計画書によると、既に手が挙がっている電力需要からして相当な数のデータセンターができるということがわかる。その規模が、現状として、また、将来的にどれくらいなのかを知りたい。また、市の将来計画としてどういったことを狙っているか、市民に対する還元があるのかといった考え方も知りたい。
- 委員：今の意見は、環境推進市民会議の目的からは逸れてしまうため、印西市の魅力の一つである自然を壊していることに対する補完があるのかといったことや、税金が地球温暖化対策・適応策にどう使われるのかといった聞き方が良いのではないかと。
- 委員：東京電力が現在行っている工事により供給される電力は、データセンターだけに供給されるものという認識で間違いないか。
- 委員：そうだと思う。この工事で供給される電力は高圧電力で、市民が使う電力とは異なるものであるという話であったと思う。
- 委員：別所緑地の田んぼのところで、「みよ」の水がかなり流れていたが、あのような状況でホタルの幼虫は発生できるのか。
- 委員：ホタルには、流水性と止水性の二種類があり、流水性は流れる水の中で生まれるゲンジボタル、止まったところではヘイケボタルが生息する。印西の場合、「みよ」は流れている所と溜まっている所の二種類あるため両方の種類のホタルがいる。先日視察した流れが確認できた場所にはいないと思うが、その奥には湿地があり、そこで発生していると思われる。
- 委員：先日説明できなかったが、印西市内でいかに耕作放棄田が増えて、ホタルが減っているかを皆さんに共有したいと思っており、今度時間がある時に 10 分ほどでプレゼンをさせていただきたい。
- 事務局：来年度の地球温暖化実行計画の改定に向けて、市長・副市長・各部長で組織される庁内会議を立ち上げたので、自然環境の保全について具体的な取組を今この場でお答えすることはできないが、そういったお話もできるかと考えている。

②環境基本計画の推進に係る市民会議の取組について

会 長：前々回のグループ討議の続きとして、これよりグループごとの取組の検討の時間としたい。時間は 11 時 10 分までとし、その後、本日の検討経過を簡単に発表していただく。

ーグループごとの検討ー

会 長：グリーンインフラグループから検討経過の発表をお願いします。

委 員：グリーンインフラを印西市で活かしていくために、条例を作るか、生物多様性地域戦略を作る必要があると考え、そのために、来月会議がないため、現状を見るための視察を企画した。現状を見てから重点地区を決めた上で、それを守っていくためにはどうしたら良いかという形式を組み立てていきたい。

委 員：条例に特化しているわけではないのか。

委 員：条例だけでなく、こういったやり方が一番良いのかも考えていきたい。自分たちがそういうことを提案できる身分ではないということもあるため、そこをどう提案するかという所は難しい部分である。

会 長：他に意見等なければ、次にサステナブル・カーボンニュートラルグループ（環境カレンダーグループ）の発表をお願いします。

委 員：環境カレンダーについては、市のホームページなどでダウンロードして、各家庭で使っていただけのもを作っていこうということで検討進めている。市で 2009 年に作ったデータを作り変えるにあたり、標語や環境行動指針など変わっている部分などにどういった解説を入れるかを議論し、最新の環境行動指針から抜粋していきたいと考えている。また、前回作成時はいんざい君が載っていなかったため、組み込ませていただきたい。以前のはカレンダーの下の方に環境運動デーが載っているが、それをなくし、市内で活躍されている環境活動団体の紹介をしたい。紹介する団体の基準として、環境フェスタに参加している（予定している）団体のうち、行政関連を除いた団体としたいと考えている。固まり切っていない部分もあるが、許可をいただけた団体の掲載をしたいと考える。また、表紙のキャッチコピーは以前グリーンインフラグループから提案をいただいた「自然と都市が共生するまちいんざい OECM」というものに差し替えたいと考えている。

会 長：環境活動団体のうちどの団体を掲載するかについてはまだ確定ではなく、環境白書には、環境活動団体が 33 団体あるということだが、事務局からそのリストを提供いただくことは可能か。

事務局：市民活動支援センターの登録団体など、ホームページ等により把握しているデータであるため、提供は可能と思われる。

委 員：今後のスケジュールとして、12 月までにカレンダーのデザインを確定し、下に掲載する団体の部分については 2 月の会議で確定させていきたい。3 月の会議では、ホームページなどで発表する形態について事務局と打合せさせていただき、4 月には市民の方が使える状態にするということを予定している。

委 員：下に環境団体を載せるというのは良いと思うが、私も載せたいとたくさん手が挙げた場合など、載せる基準などはどうするのか。

会 長：次回の会議でそれを詰めていきたいと考えている。カレンダーを載せた後にうちも載せてほしいという声があった場合には、次回のカレンダーに載せるといったことも考えられる。

委 員：各家庭でダウンロードできる形にするということだが、印刷機がない家庭も多いかと思う。そのような場合、どこかの施設に行けば印刷してくれるといったことは難しいか。もしくは、印刷したものを少しずつ公共施設に置いておくということはできないか。

委 員：前々回の会議では、印刷の予算をつけることは難しいということであったが、事務局にご判断いただきたい。

委 員：コンビニに行けば印刷は可能かもしれないが、市民にそこまでしてもらえるかどうか。見てもらえないと意味がないため、スマホ版を作るといったことも可能であれば検討していただきたい。

会 長：印刷については、事務局いかがか。

事務局：事務局で印刷して、各公共施設で配布するということは可能と考える。

委 員：広報いんざいに、環境カレンダーの記事を掲載できればお願いしたい。

事務局：4月からのカレンダーであるため、3月15日号などで記事の枠が取れるか検討したい。

(4) そ の 他

—委員より、太陽電池の開発に関する情報提供—

—事務局より、手賀沼流域協働調査、次回開催予定等について説明—

(5) 閉 会

以上

令和5年度第5回印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和5年12月11日

印西市環境推進市民会議 委員 村形 彰治

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 壽